

よ

読み書き、

計算に困難を感じる

【LD（学習障害）の特性】

LD（学習障害）は、アメリカ精神医学会の診断基準(DSM-5)によれば、主に次の3つに分類されます。

読字障害－「読み」の困難さ

- 飛ばし読みが多い。
- 読んでいる所が分からなくなる。
- 形態の似た文字の区別が苦手。



書字表出障害－「書く」の困難さ

- 黒板の書き写しに時間がかかる。
- 漢字が苦手で、自分流の「勝手文字」を書く。
- マス目からはみ出たまま文字を書く。

算数障害－「計算、推論」の困難さ

- 繰り上がり、繰り下がりの計算が苦手。
- 計算はできるが、文章題が苦手。
- 答えにたどり着くまでの推論が苦手。

文科省のLDの定義によれば、さらに次の「聞く」「話す」が加わります。

「聞く」の困難さ

- 2つ以上のことを聞いても覚えられない。

「話す」の困難さ

- 思い浮かんだことを順序よく話すことが苦手。

※ LDは、以上の能力のうち一部だけに困難さがある場合が多く、知的障害や聴覚障害等が直接原因となるものではありません。